

# さいかい

2014.8  
vol. 96  
Summer



**第16回 世界作業療法士連盟大会・  
第48回 日本作業療法学会in横浜**

## 目次

WFOTレポート	P1
第9回 IT機器レンタル事業	P3
作業療法啓発活動レポート 南島原市桜祭り報告	P4
長崎がんばらんば大会 コンディショニングルーム運営	P5
地域発OT	P7
つきあってOT ～ケアプラネッツ 葉山靖明氏～	P9
平成26年度長崎県作業療法士会定時総会を終えて	P10
さいかいはの発行によせて	P11
全日本OT選抜の球宴「ホームランカップ速報」	P12
役員紹介	P13
26年度新人職員紹介	P16
ホームページリニューアルについて	P17
勉強会紹介	P18
編集後記	P19



長崎県作業療法士会

世界作業療法士  
連盟大会日本作業療法学会  
レポート第16回世界作業療法士連盟大会に参加して  
私の個人的体験

長崎リハビリテーション学院 白岩 圭悟

今回私は、世界では作業療法の専門性ほどの程度明確化され、教育システムはどの程度確立されているのか、そして特に私が一番関心のある「自己の治療的利用 (therapeutic use of self)」という概念はどの程度受け入れられているのかを確認することをWFOT大会参加の大きな目的にしました。実際のセッションの中ではもちろん、セッション以外でもデンマーク、スウェーデン、カナダ、イギリス、アメリカ、南アフリカの作業療法士と直接ディスカッションすることができましたが、ある一人のスウェーデンの作業療法士とは1時間近くディスカッションしました。その作業療法士は「日本の発表内容の多くは医学モデルのものが多く、作業療法独自の概念的なものが少ない。」という日本の印象を話され、スウェーデンでは10年程前までは今の

日本と同じような傾向であったということも話されました。そして「自己の治療的利用」という概念もスウェーデンでは領域に関わらず、全ての作業療法士に広く受け入れられている概念だということでもありました。

さらにカナダ、イギリス、アメリカの作業療法士からも当たり前の概念として語られました。その事実を知った私は驚くというより、正直ほっとした部分が大きくありました。私は常々、作業療法はひとつが「生きる」ということに深く関わるものであるから、その根本にある「関係性」ということを無視することはできないと考えており、だからこそ作業療法士の技術の一つとしてその「体験知」を明確にしていくな作業が必要だという思いがあります。私と同じ思いを持った作業療法士が多

くいることにとっても安心しました。一方で、日本ではこの十数年この概念についてほとんど語られていません。「関係性」を重視する精神心理系領域でさえ、ほとんど語られることはなく、海外から輸入された理論ばかりに振り回されているような感さえあります。これは私の個人的な感想ですが、世界各国の発表で今語られているほとんど事は、もうすでに日本のパイオニアの作業療法士の先生方が語ってきたこと



山根先生を囲んで

のようにも感じられました。

17日の開会式では、天皇、皇后両陛下がご臨席され、安部首相などからメッセージもありました。

この事は日本における作業療法の社会的な認知がより確かなものになるというのを感じると同時に、私たち作業療法士自身がこれまでの日本の作業療法の歴史を大切に、私たちの言葉で、私たちにしか語れない日本の作業療法を示していくことの必要性も強く感じました。それはつまり「伝統を分かち、未来を創る」というテーマを、

まずは日本という国の中で行っていくことが、今私たちに求められている事ではないだろうかとも思いました。以上、稚拙な内容ながらも私がWFOT大会に参加して感じたことを思うままに書きましたが、今回の世界大会は少なくとも私にとって勇気をもたらえる貴重な体験となりました。

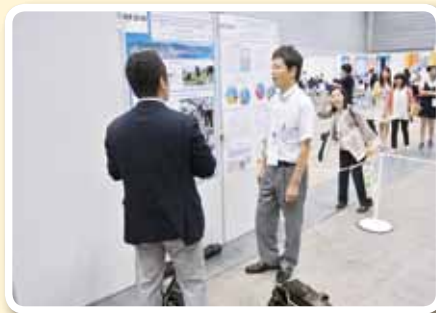


WFOT会長のシャーロン・プリンテルさんと記念写真

ついてほとんど語られていません。「関係性」を重視する精神心理系領域でさえ、ほとんど語られることはなく、海外から輸入された理論ばかりに振り回されているような感さえあります。これは私の個人的な感想ですが、世界各国の発表で今語られているほとんど事は、もうすでに日本のパイオニアの作業療法士の先生方が語ってきたこと



写真は次回開催の南アフリカブース。海外のブースはアップルストアのようなシンプルな配置でした。見学者とのコミュニケーションが重視されているようです。 中山



写真は長崎大学の北島先生のポスター発表。展示フロアではサイバーダイナ社山海教授の講演がありました。ロボット産業とOTのコラボレーションが求められる時代が来ているようです。 中山



着物コーナーなど日本の文化紹介コーナーは盛り上がっていました。 石丸

池田病院 石丸 麻亜沙

平成26年、6月18日〜21日、第16回世界作業療法士連盟大会、第48回日本作業療法学会が横浜にて行われました。世界大会は4年に1度開かれており、今回はアジアで初の開催となりました。世界中のOTが日本に集結するなんて、発表はできないけど1度雰囲気味わってみたい！英語はしゃべれないけど、外国の方とも交流してみたい！という思いから、18〜20日の日程で参加してきました。日本からは約三千六百人、外国からは約千四百人程の参加があり、長崎県からは50名程度の方が参加していたようです。

まず、展示ホールには、企業のブースの他に、日本の文化紹介コーナー（着物の着付け、お茶、折り紙、囲碁、将棋）やWFOTコーナーにはガチャガチャが設置（中はストラップやピン等）してありました。着物の着付けや折り紙コーナーには外国の方々にぎわっていました。続いて千人収容のメインホールでは、基



ガチャポンもありました。WFOT中は次から次にガチャポンのような体験をしました。

調講演やシンポジウムが行われ、超満員で立ち見が出ることもありました。中には、隣の方とくについてデイスカッションして下さいとなげかけられることもあったのですが、私の隣の方は日本人で、ちょっと残念な…でもちょっとほっとしたような複雑な気持ちでした。そして口述発表へ。外国の方の発表は当然英語ですが、イヤホンを通して英語は即座に翻訳の方が日本語訳を話して下さることで、英語はさっぱりな私にも理解することができました。中には、そんなところまでOTが介入しているのかと驚かされる発表もあり、日本の作業療法もまだまだこれから様々なところへ発展していけるのだなと深く考えさせられました。また、質問に関しては外国の方からが多く、私も積極的に質問をしていかなければいけないと思いました。

今回世界大会に参加して、結局外国の方と直接交流することはできませんでした。しかし国が違い、アプローチ方法が違って、皆患者さんのために一生懸命日々研究し、努力を重ねているということがわかり、私ももっとも努力していかなければと触発された3日間でした。



九州広報戦略部 活動報告

広報局 中山 浩介

九州の各県広報担当者による共同出展（九州広報戦略部）のため、長崎県士会からは私、中山がWFOTに参加しました。

福祉機器の業者や他県士会のブースに混じり、九州広報のブースでは、宮崎県士会と大分県士会のOT漫画に注目が集まりました。見学に訪れた海外の作業療法士によると、OTの認知を高めるために苦労しているということ。日本のキャラクターや漫画、グッズなどを使った啓発活動は参考になる、ということでした。

他の展示ブースの中では、神奈川県や東北各県の士会、海外士会も出展されていました。他県においても広報活動に力を入れている県があり、長崎県士会の今後の広報活動に参考になるアイデアをたくさんいただきました。また、海外の士会は美しいポスターやパネルでブランド力を上げる工夫がされているように思いました。

今後、このようなアイデアを長崎県士会活動においても、活用していきたいです。



三重県のリハレンジャーです。九州広報戦略部のメンバーと記念撮影。長崎県士会のハッピーも好評でした。



英語力があれば、と思いながら、なんとか海外からの見学者に対応。Japanese manga for student を説明。



# 「作業療法士が行うI-T活用支援研修会」 (長崎)に参加して

五島中央病院 平野 剛一郎

平成26年5月17日、18日の2日間  
に渡り、大村市郡地区公民館にて第  
9回I-T機器レンタル事業「作業療  
法士が行うI-T活用支援研修会」(長  
崎)が開催され、下五島地区からス  
タッフとして参加しました。この研  
修会は「作業療法士のI-T機器を活  
用した臨床活動を支援すること」を  
目的に、日本作業療法士協会制度対  
策部福祉用具対策委員会の先生方か  
ら講義やI-T機器レンタル事業の紹  
介、説明会、機器の操作体験など  
があり、とても充実した2日間を過  
しました。

その中で特に印象深かったのが  
「福祉用具相談支援システム」の存在  
です。これは日本作業療法士協会員  
の福祉用具活用における臨床活動を  
サポートするものとして開設されま  
した。我々も経験上、臨床現場で悩  
むことは多々あると思います。職  
場によっては少人数で働いている  
ところもあります。そのようなとき  
に、一人で考えるよりも日本全国の  
OTに相談し、知恵を借りることで  
解決策を考える手立てとして活用で  
きると感じました。またこのシステ  
ムの専用ページに「あいていたいむ

というものがあり、日本作業療法協  
会員であれば1か月間限定でレンタ  
ル料、送料無料でI-T機器が利用で  
きることでした。コミュニケーション  
シヨンのI-T機器は補助があると  
はいえ、高額での購入となること  
が度々みられます。このシステムで機  
器をレンタルして対象者の福祉用具  
として適切か評価できることが強み  
ではないかと思えます。五島中央病  
院はI-T機器を使用する様な対象者  
はあまりいませんが、この先相談を  
うけることもあるかもしれません。  
私自身も悩むことが多いので利用し  
てみようと思えます。

また講義の中ではI-T機器、福祉  
用具の紹介だけでなく、選定方法や  
適合評価、家族や対象者に対しての  
安全に使用するための説明などの重  
要性も言われていました。その話を  
聞いて、作業療法士はただ道具を紹  
介する、選択するだけでなく、対  
象者が道具を使用することでどのよ  
うなメリット、デメリットがあるの  
か、それらを天秤にかけながら対象  
者・家族の生活に必要なものなのか  
などを評価し、また道具を使用する  
ことでの二次的障害をどう防いでい

るか、二次的障害がおこった時にど  
う対処するか、そのような部分に専  
門性が試されているのではないかと  
改めて感じる事ができました。対  
象者・家族の生活や心に寄り添っ  
て、よりよい生活を提供できるよう  
に日々の臨床に役立てていこうと思  
いました。

最後になりましたが、今回研修会  
に参加させていただくにあたり、講  
師の先生方、長崎県作業療法士会の  
先生方本当にありがとうございました。  
時折、懇親会などで五島中央病  
院所属であることを紹介すると、「五  
島には何も資源  
がない」と言われ  
ることがありま  
す。今回学んだ  
ことを生かして、  
周囲がハンデだ  
と思っているこ  
とを一つ一つク  
リアしていき、対  
象者一人一人の  
生活に寄り添っ  
ていけるように  
頑張っていきた  
いと思います。



実機に触れる機会も多くなりました。



発達・身障の2つのセクションに分かれ、それぞれの分野に即したIT支援を学ぶことができました。



視線入力装置「マイトピー」の実演がありました。

# 作業療法啓発活動



## レポート

4月6日(日)南島原市口之津町旧第二小学校で開催された桜まつりに参加してきました。

南島原市で開催された町おこしイベント「南島原市桜祭り」に初めて県士会で参加しました。



中川 佳苗 (哲翁病院)  
 下濱 太陽 (松岡病院)  
 大崎亮先生 (公立新小浜病院)  
 山南 藍 (児童発達支援センター) たちすかる 早崎)

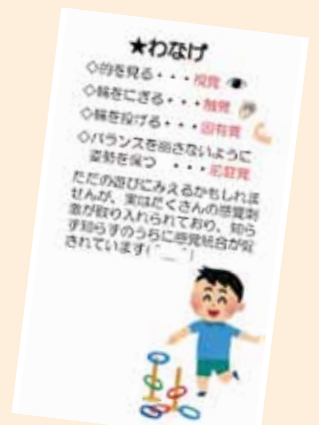
中川です。



【感覚統合巳をテーマにバランスマットに乗って輪投げ体験を行いました。輪のサイズ・バランスマットの有無・目標物の位置を対象者に応じて変更するなどの工夫をし、0歳から70歳代までの方に参加していただくことが出来ました。

一番興味を持っていた年代は園児から小学生までで、点数を掲示しその点数を超えたいと中には20回以上している子供さん達の様子が見られ、また作業療法士を目指したいという地元の高校生の声もあり、地元の祭りを通してふれあう機会を作り、より身近に私たちの存在をアピール出来たのではないのでしょうか？

作業療法士が少ない南島原市のために、島原市・雲仙市の作業療法士の皆さんのお手伝いもあり、ステージ・ブースとも好評をいただくことができました。これからも、啓発活動・町の行事に私たちが参加することで、へ生きることが作業である」という言葉がより皆様の心に浸透し地域と病院がさらに密着していくといいなと強く感じた一日でした。



感覚統合の体験とPR



祭りステージでは作業療法のPR。スーパープレゼンでした！



老若男女が体験



参加者のみなさんと記念撮影。お疲れ様でした。

# 長崎がんばらんば大会 コンディショニンググループ運営

国体推進委員会

担当理事：黒木 一誠

国内最大のスポーツの祭典「第69回 国民体育大会」と「第14回 全国障害者スポーツ大会」が今年長崎で開催されます。

今回、長崎県作業療法士会は長崎県からの依頼で、「長崎がんばらんば大会」の付帯サービスとして「ライティングディスクとバレーボールの2競技のコンディショニング」の運営を行います。

そこで、コンディショニング運営準備途中ではありますが、準備段階の話も加えながら紹介させていただきます。



## 先催県（東京大会）視察と コンディショニンググループ検討会議

今回、障害者スポーツ大会である「長崎がんばらんば大会」のコンディショニンググループ運営の依頼を県士会が受けていますが、これは「第12回大会の岐阜県」や「第13回大会の東京都」も作業療法士会が協力しており、先催大会からの引き継ぎの経緯もあります。

岐阜県作業療法士会では、4競技の運営を行っていましたが、初めての事で、障害者スポーツの研修やテーピングの研修にかなりの時間と費用を割いたようです。東京都作業療法士会では、2競技と数を減らし運営を行っていましたが、依頼が来たのが、半月前ということでした。東京大会には沖会長と視察に行かせて頂きましたが、テーピングは実施しないという方法で運営しておりました。

当士会の会員も、病院での治療としてのリハビリが主であり、スポーツリハなど院外で活動している人口が少ない現状で、戸惑いも感じていました。長崎でのコンディショニンググループ検討会議に参加し、不安についても含め、他の団体と協議していきましました。

結果、長崎大会では1競技1団体の運営ではなく、当県士会を含め、長崎県理学療法士協会、長崎県柔道整復師会、長崎県鍼灸師会、長崎県鍼灸マツサージ師会の5団体と協力して、サポートし合い、どの競技でもすべてのコンディショニング（マッサージ、鍼灸、ストレッチ、テーピング）が受けられる様に、1競技を複数団体で運営し、各競技のコンディショニングを行うようになりました。



# 長崎がんばらんば大会 から作業療法を考える

長崎がんばらんば大会は平成26年11月1日から3日間、全国から都道府県・指定都市の選手団約5,500人が参加し、個人競技6競技、団体競技7競技の13競技及びオープン競技が実施されます。

障害者スポーツ大会は、「障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加の推進を図ることを目的とした障害者スポーツの全国的な祭典」と位置づけされていますが、私たち作業療法士も、スポーツを含む様々な活動を通して、障害のある方の地域や社会への参加を推進していかなければならない立場にあるかと思えます。

スタッフとして協力してくれる方、応援に来られる方、競技に参加する障害のある方をサポートする方もいるかと思えます。

少しでもこの大会に参加し、作業療法についても一緒に考え、活躍の場が広がる事を願います。

## 長崎がんばらんば国体 2014

平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

## 長崎がんばらんば大会 2014

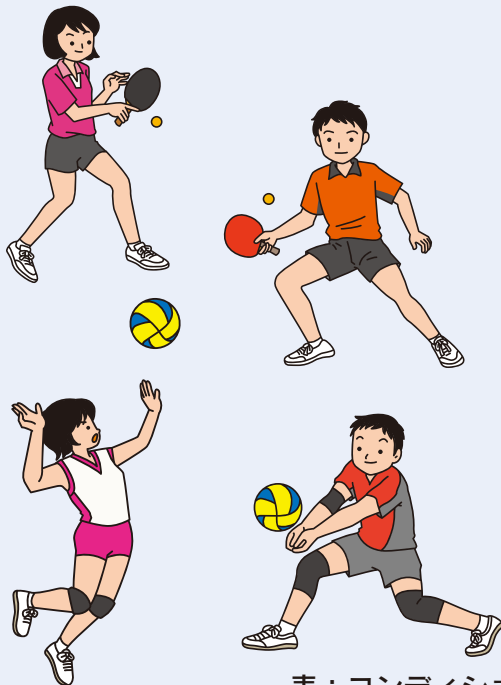
平成26年11月1日(土)～11月3日(月・祝)



らんばちゃん



がんばくん



表：コンディショニングルーム運営準備スケジュール

		場所／視察競技	出席者
第1回検討会議	H25年度7月	長崎県産業交通会館	黒木
東京大会視察	H25年10月	フライングディスク、卓球、バレーボール	沖、黒木
第2回検討会議	H25年度11月	長崎県産業交通会館	黒木
第3回検討会議	H26年度7月	長崎県産業交通会館	黒木

# 地域発 OT

ドリームケア大和

小出 将志

私は、佐世保市にある介護予防  
デイサービスセンター、ドリーム  
ケア大和で今年の五月から所長と  
して携わらせて頂いております、  
作業療法士の小出将志と申します。

回復期病院  
である「耀光  
リハビリテー  
ション病院」、  
介護老人保健施設



利用者様お一人お一人に生活の  
上で困っている事やできるよ  
うになりたい事を聴取させて  
頂きながら身体機能の維持、  
改善を図ることでより生活  
を楽に、やりたい事をでき  
るようになる為に、利用者  
様と目標を共有しながらお手  
伝いさせて頂ける道もあるの  
ではないかと日々模索しながら  
業務に励んでおります。

荷（重り）で体中各所の筋肉に適  
度の刺激を与えつつ、関節を最大  
限に動かしていくことで動作性を  
向上させていくことが最大の目的  
になります。運動の負荷量として  
はお風呂に入る際の体力消耗より  
も軽い事が特徴です。二つ目は「ス  
テップ運動」という運動プログラ  
ムです。簡単に言うと踏み台昇降  
運動で、10〜20cmの高さの台を音  
楽に合わせて踏み台の昇り降りを  
反復して行い、下肢筋力や心肺機  
能の向上を図ります。ステップ運  
動は体重を上下に移動させたり、  
片足で体重を支えている時間が平  
地歩行と比較して長いなど、通常

当事業所は平成二十二年五月、大  
和町に開設し、要介護認定を受け  
られた方を対象にしたサービスを  
展開しております。要介護認定を  
受けられた方々が適度な運動を行  
い、それを習慣化して頂く事で、  
自分自身の生活をより生きいきと  
充実したものとして過ごして頂け  
るようにお手伝いできればという  
思いで日々頑張っております。と  
は言うものの、今年の五月に異動  
したばかりで、ようやく業務に慣  
れてきたところで恥ずかしながら  
まだ何のお役にも立てていないの  
が現状です。

「サン」、急性期病院  
の「佐世保中央病院」と急性期か  
ら生活期まで一連の病期を経験さ  
せて頂きました。そして再度、生  
活期であるドリームケア大和へ所  
長としての異動という大役を仰せ  
つかり、七転八倒しながら業務を  
全うしている状況です。再度生活  
期に異動してから感じたことは、  
利用者様お一人お一人が運動に対  
して主体的に取り組んでいること  
の素晴らしさを再認識できたこと  
と同時に、私自身OTとして生活  
を見る機会がほとんど取れないと  
いう現状に対するもどかしさでし  
た。そんな中でも、OTとして「生  
活を見る」という視点は忘れず、

今回はその中でも、当事業所で  
主に実施している二つの運動プロ  
グラムについてご紹介したいと思います  
です。まず一つ目は「パワーリ  
ハビリテーション」という運動プ  
ログラムです。これは六種類のマ  
シーンを用い、軽い負荷をかけた  
がら普段使っていない筋肉や神経  
をまんべんなく動かすことで身体  
の動きや安定性を向上させ、行動  
変容へと繋げる為の運動です。一  
般的な筋トレとは違い、軽めの負



の歩行では使用しない筋肉の使い方方をします。日常生活では鍛えにくい部分を効果的にトレーニングすることで歩行の安定性向上や転倒予防にも効果があると言われています。他にも各種機器・体操、大和のオリジナル体操もあります。が、このような運動プログラムを提供していくことで、利用者様が生活をより楽に、楽しく主体的に過ごして頂けるよう支援させて頂いております。こうした運動プログラムを実施していくことで得た昨年度の維持改善率は85%（維持：72%、改善：13%）となっております。介護予防デイサービスセンターの使命は介護予防にどれだけ貢献していけるかということが鍵になると思います。そういった使命感を念頭に置きつつ、今後は施設内でのレクリエーションをもっと充実させ、より楽しみを持って取り組んで頂けるよう、趣向を凝らしていきたいと思っております。

また、ドリームケア大和では、広報誌として大和新聞を二月に一回発行しております。毎回利用者様お一人ずつに焦点を当てさせて頂き、生きいきとした生活内容についてインタビューさせて頂いております。お一人お一人違う思いで当施設をご利用頂いており、生活に寄り添った内容となっておりますので機会があれば一度ご覧頂きたいと思っております。



利用者様お一人お一人の生活や人生を全力でサポートできるよう、大和の更なる発展に尽力していききたいと思っております!!

平成26年6月8日、長与病院通所リハビリテーション室にて、2名の先生が貴重な講演をしてくださいました。今回は葉山さんのご紹介と当日参加された池田さんの感想を紹介します。

# つきあってOT

株式会社 ケアプラネット 代表取締役  
 ティサービスけやき通り 葉山 靖明さん



目白大学保健医療学部 作業療法学科  
 専任講師 小林 幸治先生



葉山さんの作業療法体験ストーリーを漫画にしたものです。「OTのお仕事」  
<http://www.ot-iine.jp>  
 にて掲載されています。




講演をすることは葉山さんにとって「意味のある作業」の一つです。

懇親会では、「生活行為向上マネジメント」や「意味のある作業」についてお二方の意見をたくさん聞くことが出来ました。



葉山さんとは、脳卒中の後遺症で、右半身の麻痺、歩行障害、言語障害、日常生活動作の制限など、様々な障害を抱え、生活に大きな困難を感じておられた方です。葉山さんが作業療法を行ったことで、生活の質が向上し、社会参加できるようになりました。小林先生からは、脳卒中の方の心理面について講演をしていただき、「観察」「面接」の重要性を再度認識することができました。当院では脳卒中の方に携わる機会があまりありませんが、「信頼関係を築く」に携わることが、患者さんにとって大切なことだと思います。今後、対象者が話しやすいと思う環境作りや話し方、細かな変化に気づきフィードバックしていくなど、基本的なところを忘れずに関わっていきたいです。お二人の講演は、私に作業療法士として堂々と胸を張り頑張る自信と勇気をもたらしました。

“Meaningful occupation”  
 「意味のある作業」の追求

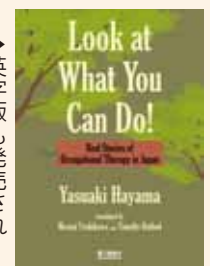


三菱長崎病院  
 池田 愛香

▶葉山さん著  
 「だから、作業療法が大好きです！」



▶英字版も発売されました！



# 平成26年度 長崎県作業療法士会 定時総会を終えて

石坂脳神経外科 佐藤 純哉

去る6月28日(土) 佐世保市にある長崎国際大学において県士会総会が行われました。

今回私は議長という立場で総会に出席しましたので、その報告(感想?)をしたいと思います。

議長という役目は初めての経験で、よもや自分が請け負うことになるとは夢にも思わず、これまでの総会も「議長つてすごい」程度にしか思っていなかったため諸先輩方の進行について全く記憶になく、当日はただただ緊張の連続で、結果あのだとどしさに至った訳です。

当日出席された方は議長の選出の流れについて当日の突然の選出と思われるかも知れませんが、実は前もってお願いはされています。

とはいえ当日まで何の打ち合わせもなく、具体的な打ち合わせをするのは開始の実に30分前という強行軍で、私の緊張は高まる一方でしたが

会場前に行くと顔見知りの先生方の

姿が見え、しばしの談笑の間に緊張も和らいだところでいざ会場へ、まさか壇上にはがるとは思っておらずここでさらに緊張が増すことに:内心「さらし者だな」と思いつつ進行していったしいです。

今回は時節柄フロアーからの心無いヤジに警戒感をもっていました。が、幸いにそのようなこともなく議事は淡々と進み全ての議案が承認されていきました。

さて今回の総会の出席人数は実に全会員数のおよそ5・7%という出席率:

ざつと会場を見渡すと大体見たところがあるような顔、顔、顔、ということは何の皆さんが何かしらの県士会活動に関わっている人ということになるんでしょうね。

逆を言えば活動に参加しない人は、総会の出席もしないということ

でしょう。

ここでなぜ出席率が上がらないかを挙げていくと憶測でしかなく、内容もどちらかといえば綺麗ごとが多くなるので私の経験から話をします。

私は決して熱い人間ではなく、積極的に活動に参加している訳ではありません。

色んな偶然から関わるが増えるに今回のような仕事を引き受けるに至ったのですが、それ以前は今回のような総会、学会等で前に出る先生方は特別な人達で自分には縁のない人なんだらうと思っていました。しかし接していくと全ての先生方が臨床家であり、あるいは教育者であり、あるいは行政でありと立場はそれぞれですが私たちと同じセラピストなんだという事に気づかされました。

たぶん活動への参加をためらう人の多くは、中心となつていない人達は特別な先生たちで自分とは縁のない人がやっているんだと思っっているのではないのでしょうか?

ちよつと勇気を出して関わってくと、あの時前にいた人達全てが特別な人間ではないということに気がつくはずですよ。

ということ、今まで出席したこ

とのない方々は一度県士会活動に参加してみるのはどうでしょうか?

新しい出会いがあり新しい経験が出来る事で新しいものの考え見方が出来るようになると思いますよ。

決してやる気があるわけではない私が議長を引き受けたのは、そういう経験をすることが自分自身のスキルアップにつながると思つたからです。

一年間で全ての会員の中からたった一人しか経験できないこの仕事、やってみたいと思いませんか?

当日は会場から議長の立候補を受け付けます。

その時に自ら手を挙げるサプライズを演出してみるのはどうですか? ちなみにその日の夜は多くの先生方との楽しい懇親会があり、その時のビールはまた格別の味でした。

ちよつと議長の立場とはかけ離れた内容になりましたが、以上で総会の報告を終わります。

当日総会に参加されました会員の皆様、私のつたない議事進行に辛抱くださいました約1時間半、大変ご苦勞様でした。ありがとうございます。

# 「さいかいの発行によせて」

宮原病院 熊本 昭人



毎回楽しく『さいかい』を読ませていただいています。「最近紙面も凝っており、きれいにレイアウトが施されているなあ」と、感心しています。私も以前、広報部員（当時は広報部でした）として県士会活動に参加していました。今回「さいかいの発行によせて」というお題をいただき、当時のことを思いつくままに書かせていただきましたと思います。

かれこれ20年ほど前になると思いますが、先輩から誘われ『西海』（以前は漢字表記でした）の発行をお手伝いすることになりました。当時、私はパソコンを持っていなかったのですが、「広報部の活動に必要だ！」との理由で、清水の舞台から飛び降りる気持で「98（キューハチ）」の購入を決意したのでした。

当時は年4回の発行で、会員数も100名を少し越えるほどだったと思います。原稿の依頼も、同じ人や病院・施設に偏らないように考えるのも結構大変な作業だったように覚えていてます。今でこそ原稿はメールに添付して送ったり、ネットを利用

した部員間の打ち合わせも当たり前になっていますが、当時は発行に向けての打ち合わせなどで部長宅に休日の朝からお邪魔して編集作業を行っていました（大変ご迷惑をおかけしたと思います）。原稿のやりとりは「ダイアルアップ接続」でしたので、数MBのファイルを送るには、途方もなく時間がかかるものでしたが、それまでは「郵送」が唯一の手段だったので、ネットの利用は画期的でした。また、当時

「Windows 95」が発売されていたのですが、まだまだワープロ専用機が主流で、書院や文豪、ルポ、オアシスといった様々な機種で書かれた原稿をFAXやフロッピーディスクで送っていたとき、原稿を打ち直したりファイルを変換して『西海』の紙面を作ったのを思い出します。その当時は原稿集めと入力作業に追われるあまり、内容など企画に関しては、なかなか手が回らないことが多く、会員の皆さんには大変ご迷惑をお掛けしたのではないかと思います。当時のことを思い出すと反省することしか思い出せません。しかし、こ

れからも『さいかい』楽しみにしていただきますので、広報局の皆さん頑張ってください。協力できることがあれば、「ちょっと」なら、役に立つことができればいいかもしれません。

最後になりますが、通常の作業療法士としての業務に加えて、県士会活動を支えている、会長をはじめとする各役員ならびに事業局に所属する皆様には頭が下がるばかりです。



# 全日本OT選抜の球宴 「ホームランカップ速報」

長崎記念病院 高木 魁



世間はW杯で賑わう中、H杯（長崎県軟式草野球大会「ホームランカップ」）が開催されました。長崎市内を中心とした野球大好きOTで編成されたチーム「全日本OT選抜チーム」で毎年この大会に出場しています（助っ人にPT1名がいる事は内緒ですが…）。

私は新入社員で野球未経験者（中学元サッカー部）なのですが、野球が大好きという事でチームに参加させていただきました。

今年は6月29日に試合が行われました。日々の業務で多忙の中9名のメンバーが集まりましたが、練習なしのぶっつけ本番という形で試合に臨むことになってしまいました、試合前のウォーミングアップで息が上がっている様子でした。その反面相手チームはというとピンクのユニフォームに身を包み、明らかに練習を積み重ねてきた精鋭部隊の様な雰囲気を感じていました。我々も全日本OT選抜という肩書きを持つ以上、OTの誇りにかけて全力で相手チームに挑みます。

いざ決戦!! プレイボールの合図でチーム全体の指揮が上がり、1つにまとまった気がしました。3回までは白熱の投手戦。互いのエースが気迫のこもった球を投げ、堅実堅守のプレーを野手が魅せます。お互い得点を許さず均衡した状態が続き、ミスが許されないという緊迫した雰囲気となっていました。しかし4回裏相手チームの攻撃で、連打と痛恨のエラー

もあり2点を先制されてしまいました。その後も2点を奪われ、奮闘するもチャンスを上手く繋ぐことが出来ずにゲームセット。0-4で終了し、敗北してしまいました…。

結果は負けてしまいましたが、火の玉ストリートで三振をとるエース松本、レーザービームで盗塁を阻止する捕手中村雄、チームの核弾頭ファースト大久保、華麗な守備を魅せる二遊間吉岐尾&森内、選手兼監督でチームの頭脳センター中村和好バントを魅せる快速ライト平本、長身から魔球を繰り出すリリーフエース三宅などなどOT選抜にも好プレーを見せてくれる選手達ばかりでした。

私は初参戦でしたが職場とは違う雰囲気の中で他病院の先生方とも楽しく交流させて頂きました。全員で光る汗を流し、勝利という2文字を手にするため一緒にプレーする先生方の背中を見て私は長崎県OTの強い絆を感じさせられました。来年のホームランカップでも魂を震わせる様な熱いプレーを先生方に皆さんで期待しましょう!!

また全日本OT選抜は常時メンバーを募集しています。野球の経験は問いません。他病院のOTの先生方と親睦を深めたいと思っている方、熱いプレーを先生方と共にしませんか? ぜひ一度参加してみてください。皆さんのご一報お待ちしております。

## 【選手紹介】

- 1番 捕 中村雄太 (三原台病院)
- 2番 投 松本康宏 (三原台病院)
- 3番 左 高木魁 (長崎記念病院)
- 4番 一 大久保篤史 (長崎大学病院)
- 5番 三 三宅陽平 (長崎記念病院)
- 6番 二 森内拓 (三原台病院PT)
- 7番 遊 吉岐尾優太 (長崎原爆病院)
- 8番 右 平本陽一 (長崎記念病院)
- 9番 中 中村和也 (長崎記念病院)



選手の皆さん お疲れ様でした。

# 役員紹介

平成26年度長崎県作業療法士会役員体制が決定しました。会長・副会長・地区理事・局担当理事・部長の抱負と内顔を紹介します。今年度もよろしく願います。

## 副会長 前園 健之 (杠葉病院)

今期も引き続き「副会長」をさせていただきます。副会長の職務は会長の補佐です。が、会長がとてもバイタリティな方なので、副会長としての職務は…？で、現在は「倫理担当窓口」(形だけ?)の他に、とても重要な職務担当をさせて頂いております。それは…!



「生活行為向上マネジメント推進委員」です。

これからOTがOTとしてOTの力を発揮する為のツールを会員へ推進し普及する仕事です。

次年度より本格始動する為(委員会設立)に向けて、本年度は準備期間とし活動しますので…OTなら一見!必見!実践へ(^o^)/

## 会長 沖 英一 (和仁会病院)

### 今年度の最重要課題

2025年を見据えた医療・介護保険制度が、年々変化しています。

高齢者が、地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムを構築するために認知症支援施策の充実、医療と介護の連携、高齢者の居住に係る施策との連携、生活支援サービスの充実といった重点に取り組まなければなりません。

それには、介護予防の推進が重要です。

介護予防は、高齢者が要介護状態等となることの予防や要介護状態等の軽減・悪化の防止を目的として行うものである。特に、生活機能の低下した高齢者に対しては、リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要であり、単に高齢者の運動機能や栄養状態といった心身機能の改善だけを目指すものではなく、日常生活の活動を高め、家や社会への参加を促し、それによって一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援して、QOLの向上を目指すものであります。

これまでの介護予防の手法は、心身機能を改善することを目的とした機能回復訓練に偏りがちであり、介護予防で得られた活動的な状態をバランス良く維持するための活動や社会参加を促す取組が必ずしも十分ではなかったという課題があります。

これからの介護予防は、機能回復訓練などの高齢者本人へのアプローチだけではなく、生活環境の調整や、地域の中に生きがい・役割を持つて生活できるような居場所と出番づくりなど、高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めた、バランスのとれたアプローチが重要です。

県士会の取り組みとしては、「生活行為向上マネジメント」の考え方を作業療法士・介護支援専門員・地域包括支援センター職員などへ啓発して介護予防へ貢献していきます。



## 副会長 永石 博徳 (フォンテ島原)

今期より、濱根さんの後任として副会長をさせていただきます。皆様の協力のおかげで理事として10年近く務めさせて頂きました。恐らく、県士会活動という「作業」に関わらなければ陸の孤島に引きこもり、多くのOTの皆さんと交流することはなかったと思います。

この「作業」が私自身を「健康」にチヨットはしていると思います。役不足ではありますが、私なりに出来る事を模索していきます。今後も皆さんの周りをウロウロしますのでよろしくお願い致します。



## 事務局担当理事 田中 浩二 (長崎大学医学部保健学科)

事務局を担当しています、長崎大学の田中です。今年度からは高次脳機能障害委員会の担当理事も務めさせて頂くことになりました。事務局業務としては会員管理、財務管理を粛々と行なっているところですが、今年度は特に休会制度の検討や多くの会員の方に参加頂けるような総会について考えたいと思っています。会員の皆様にもご意見等頂ければ幸いです。



## 事務局部長 磯 直樹 (三原台病院)

総務部長を務めております三原台病院の磯直樹です。関東出身ですが縁がありまして長崎に来まして8年目になります。田中事務局の右腕のつもりで会員管理業務や書類管理業務に携わっております。何分、性格が大雑把なものですから皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い致します。他県から来ました私から見ると、長崎には熱心でお手本となるような先生方がたくさんおられると思います。先輩方を手本にしながら、皆さんと一緒に臨床だけでなく長崎県士会での活動にも貢献できるように頑張りたいと思います。



役員紹介

長崎地区理事 福島 浩満  
(長崎医療技術専門学校)

New!

今年度から長崎地区の理事を務めさせていただくことになりました。医技専4年目の福島です。臨床経験は脳血管疾患を中心に身体障害領域で9年程。得意分野は…これとって無く、「こんなでいいのか?」と自問自答を繰り返している今日この頃。趣味は釣りと最近ガーデニングにハマりつつあり、週末は自分で自分に作業療法!みたいな…。



昨今、学校教育と臨床教育、どちらも課題がいっぱいです。多くの会員の皆様の意見をいただき、互いに研鑽していければと考えています。まだまだわからないことだらけで、何ができるかわかりませんが、「これまで通り」が嫌いなタイプですので、少しでも県士会活動が良い方向に更新していく支援ができればと思っています! よろしくお祈りします!

長崎地区理事 小中原 隆史  
(訪問看護ステーション すみ香)

今期も長崎地区理事を担当させて頂くことになりました。皆様宜しくお願いいたします。さて、今期は「特設国体推進委員会」と「高次脳機能障害委員会」が新設されました。OTの活躍の場が増えることに喜びを感じてもらえるよう、また会員の皆様が協力しやすい体制を整えられるよう、地区会員同士が強く結びついて邁進していけるよう、尽力していきたいと思ひます。



県央・県南地区理事 平川 樹  
(池田病院)

継続して県央・県南地区理事を担当させて頂く事になりました。3期目の関わりで、自分がどれだけ役に立ててるのか常に自問自答しているところです。作業療法は、職能団体であり、この団体に所属していることは、組織として啓蒙していくことも大事な仕事だと思っています。様々な事業で、皆様の協力が必要になりますので、是非宜しくお願いします。また、26年度は、2回目の学会担当地区でもあり、より地区のつながり「輪」が必要だと感じます。地区全体の活性は、県士会・協会の発展に繋がりますので、その調整役として奮起したいと思います。



県央・県南地区理事 白岩 圭悟  
(長崎リハビリテーション学院)

New!

今年度より県央・県南地区の理事となりました長崎リハビリテーション学院の白岩です。前任の松尾みき先生のようにエネルギーに作業療法の発展に貢献できるよう、力を尽くしたいと思っています。また、養成校として作業療法の専門性をしっかりと教育できるよう、県士会の皆様からご意見をいただきながら、より良い教育の構築を目指していきたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。



県北担当理事 村川 孝幸  
(西海病院)

New!

皆さんこんにちは、今年度より新たに県北担当理事となりました村川と申します。精神科に勤務し主に院内での作業療法を行っています。簡単に自分の紹介を行うとすれば「一人が大好き」でしょうか…。間違いなく変わった人の分類に入りますが、そんな自分でも出来ることがあれば、精一杯やらせていただきたいと思います。



さて理事としては当面、県北地区の先生方への連絡等がメインと思っています。ただ私の motto として「楽しくなければ、やりがいなければ何事もできない」と思っています。日々の臨床でも理事の仕事でも同じく、作業療法をしていきたいなと思ひます。こんな私ですが、気軽に声をかけてくださればと思ひます。よろしくお祈りします。

県北地区理事 山口 勝史  
(燿光リハビリテーション病院)

今回、「替わった方がいいんじゃないか!?!」という声も聞こえるような気もしましたが、引き続き県北地区理事を担当させて頂く事となりました。



今年度も、現職者選択研修の開催や、OTの啓発活動など様々なことに取り組んでいきたいと思っています。昨年度も、皆様のお力をお借りしながら、何とか活動してまいりましたが、今年度も引き続きご協力の程、宜しくお願い致します。

皆様が、OTでよかったと思えるような県士会となるよう努力していきたいと思ひますので、よろしくお願い致します。

離島地区理事 佐賀里 昭 (長崎原爆病院)

離島地区担当理事の佐賀里昭です。平成23年より離島地区を担当させていただいております。離島地区の作業療法士は少数ながら、身体・精神・小児・地域と幅広い領域で活躍しています。これまで現職者共通研修や県学会等を通して相互に交流できる機会を設けてきました。これもひとえに皆様のお力添えのおかげと深く感謝しております。今後ともなにとぞよろしくお願い致します。



## 事業局担当理事 黒木 一誠 (長崎北病院)

昨年までは長崎地区を担当しておりましたが、今年度より事業局を担当することになりました。

まずは、昨年度からの健康福祉まつりを進めながら、今年度長崎で開催される「がんばらんば大会」に向けて会員の皆様により身近に感じていただける様に盛り上げていきたいと思っております。

あなたは、人を楽しませるのが好きですか？  
人の喜んでる顔を見るのが好きですか？  
そうかも!! というあなた、あなたは事業局にピッタリです。是非、県土会事業にご協力をお願い致します。



## 事業局部長 吉野 雅之 (和仁会病院)

和仁会病院の吉野です。  
今回も事業局部長を引き受けさせていただきます。

私は「大阪生まれで大阪育ち」と言っても長崎生活の方が長くなってしまい、月日の早さを感じる年齢になってしまいました。OTとして働き出して3年で理事を引き受けて以来、理事・部長として事業局一筋15年近くになります。各市での健康福祉祭りを中心にさまざまな活動を通して市民への啓蒙を行ってきました。これからもたくさんの市民に「作業療法」を知ってもらおう努力を続けていきます。皆様の協力をよろしく申し上げます。



## 学術局担当理事 中村 和也 (長崎記念病院)

New!

本年度より学術局を担当させていただきます。皆さまのお役に立てるよう、責任を持って努めて参ります。どうぞ、宜しくお願いいたします。以下、簡単な自己紹介です。

生年月日：昭和55年6月22日

出身地：諫早市

出身校：長崎大学医療技術短期大学部（15期生）

愛娘二人（4歳と2歳）の父、家事分担に積極的な夫  
趣味：音楽（Mr.Childrenファン）、スポーツ（職場の野球部所属）

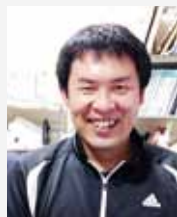
特技：飲酒（そこそこ飲めます）

興味：ダイエット全般

最近職場からランニングで帰宅してます。

やっば、ダイエットの王道ですね。多少、効果↑

今までの学術局活動を踏襲しながら、少しずつ新しい試みにも挑戦していけたらと考えています。



## 学術局部長 平本 陽一 (長崎記念病院)

New!

今年度より学術部の部長をさせて頂く事になりました長崎記念病院の平本陽一です。今年でOTになり6年目・学術局に関わらせて頂いて5年目になります。

出身は長崎県五島列島、普段は仕事に趣味(サッカー・釣り・麻雀など)に充実した日々を送らせてもらっています。最近30歳を迎え、体力的な低下を日々痛感する事が多いですが…これからも仕事・プライベート共に全力で取り組んでいきたいと思っています。まだまだ経験不足で分からない事も多いですが、新理事の中村氏をはじめ学術局員の方々に色々教えて頂きながら、研究・発表・勉強会など、皆様の学術的発展に少しでも貢献していけるよう一生懸命頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



## 教育局担当理事 片田 美咲 (にしきの里)

時に、娘(4歳)を連れながら、県下(離島)を飛び回り、現職者研修会を開催しています。毎回の開催コマを2コマ(半日)にすることで、子育てママさんが少しでも参加しやすいようにと思っています。気づけば、理事になって6年目。今年度からは、唯一の女性理事です。今後も、女性ならではの視点で、県土会の運営に携わっていきたくと思っています。教育局の情報は、随時HP・Facebookで更新していきますので、チェックをお願いします。Facebookの「いいね!」は、県土会HPからお願いします。



## 教育局部長 岡本 康宏 (長崎記念病院)

教育局に所属しています長崎記念病院の岡本康宏です。大体の現職者研修会の受付(離島以外は)にすることが多いです。何かわからないことがあればお気軽に声を掛けていただければと思います。片田局長にひっぱっていただくことが多いですが、何とか補佐できるよう頑張っていきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。



## 広報局担当理事 中山 浩介 (菅整形外科病院)

前年度に引き続き広報局を担当させていただきます。今年度はホームページリニューアルを行い、利便性のあるHP、およびHPの広報媒体としての活用をはかっています。広報誌「さいかい」については、各地区に地区部員を増員し、アンテナを広げ、会員の皆様の活動を細かくレポートできる体制を整えていきたいと考えています。



## 広報局部長 上野 歩 (社会福祉法人 陽光長崎)

昨年度より広報局の部長をさせて頂いております。今年度からの広報局の動きとしては、地域の方・高校生に対する広報活動をあげています。そのひとつに一般向けのリーフレットの作成を行っており、完成しましたら各種のイベントにて配布をしたいと思っております。今年度は各種のイベントにて広報局がお邪魔すると思っておりますが、その時はよろしくお願いいたします。広報局からの情報については、事業局を共同にてFacebookを立ち上げていますので「いいね」をお願い致します。

甲子園ですけど、ホークスファンです!!  
外では怖くてユニフォームは着れなかった!





# 平成26年度 作業療法士 新人紹介



オリエンテーションに参加された新人さんからのメッセージです

## 【氏名】

- ①所属施設
- ②出身校
- ③抱負



## 【青野 真琴】

- ①老健 うぐいすの丘
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③地域活動もがんばりたいと思います。よろしく願います。

## 【池崎 元治】

- ①長崎北病院
- ②福岡天神医療リハビリ専門学校
- ③とにかく、頑張ります！

## 【尾崎 朱花】

- ①耀光リハビリテーション病院
- ②藤華医療技術専門学校
- ③赤い花の様に周りを明るく元気にできるOTになるよう頑張ります。

## 【木山 絵理】

- ①長崎セントノヴァ病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③どんな時も笑顔で頑張ります！

## 【田中 真輝】

- ①長崎北病院
- ②長崎大学
- ③何事も精一杯頑張りたいと思います。

## 【田縁 麻衣子】

- ①小島居諫早病院
- ②琉球リハビリテーション学院
- ③患者様に必要とされるOTになります！



## 【馬場 大地】

- ①長崎北病院
- ②国際医療福祉大学
- ③これから長崎県の一介の作業療法士として頑張っていきたいと思います！

## 【前田 里美】

- ①耀光リハビリテーション病院
- ②小倉リハビリテーション学院
- ③元気に頑張ります！！

## 【池田 光隆】

- ①佐世保中央病院
- ②帝京大学福岡医療技術学部
- ③患者様に寄り添えるOTを目指します。

## 【小坂 勝】

- ①ナーシングケア横浜
- ②長崎大学
- ③利用者様を第一に考えたOTを目指します。

## 【児玉 真莉奈】

- ①泉川病院
- ②国際医療福祉大学
- ③早く一人前のOTになれるよう頑張ります！！

## 【津田 祐介】

- ①横尾病院
- ②長崎医療技術専門学校
- ③日々精進していきます！！

## 【東恩納 拓也】

- ①長崎大学大学院国立長崎病院
- ②長崎大学
- ③臨床に活きる研究を頑張ります！

## 【柳原 由紀】

- ①長崎リハビリテーション病院
- ②国際医療福祉大学
- ③頑張ります。よろしく願います

## 【池田 佳宏】

- ①和仁会病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③頑張ります。

## 【篠島 知佳】

- ①長崎北病院
- ②西九州大学
- ③笑顔いっぱい頑張ります！

## 【坂井 瞳子】

- ①日本赤十字社長崎原爆病院
- ②長崎大学
- ③新人らしくフレッシュに頑張ります！

## 【富岡 智子】

- ①長崎リハビリテーション病院
- ②鹿児島第一医療リハビリ専門学校
- ③よろしく願います

## 【平井 紀香】

- ①南野病院
- ②帝京大学(福岡医療学部)
- ③一生懸命頑張ります

## 【山内 良太】

- ①十善会病院
- ②長崎医療技術専門学校
- ③努力あるのみ

## 【磯部 諄一】

- ②長崎リハビリテーション学院
- ③精一杯頑張ります！

## 【小田 英司】

- ①愛健医院
- ②医療福祉専門学校緑生館
- ③ようやくスタートです。一人前になれるよう頑張ります。

## 【里村 月子】

- ①南野病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③頑張ります。よろしく願います。

## 【富永 涼太郎】

- ①耀光リハビリテーション病院
- ②大阪保健医療大学
- ③笑顔第一！！

## 【畑 れもん】

- ①長崎リハビリテーション病院
- ②熊本総合医療リハビリテーション学院
- ③毎日笑って働けるように頑張ります

## 【宮崎 豊】

- ①柿添病院
- ②小倉リハビリテーション病院
- ③県北地区の地域リハに貢献していきたいです。

## 【井元 砂也圭】

- ①みんなの家 たちうら
- ②小倉リハビリテーション学院
- ③人に好かれるOTになる。

## 【大西 亜弥】

- ①佐世保中央病院
- ②西九州大学
- ③患者様の気持ちを第一に考え、貢献できるように頑張ります。

## 【高石 美穂子】

- ①光風台病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③がんばります

## 【中山 拓郎】

- ①長崎北病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③一生懸命がんばります

## 【百武 大樹】

- ①西諫早病院
- ②長崎大学
- ③まずは「自信」をつけたいです

## 【横田 美紀】

- ①柿添病院
- ②福岡医専専門学校
- ③笑顔で頑張ります！！

## 【江島 洸大】

- ①諫早記念病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③精一杯頑張ります！

## 【梶山 葉月】

- ①長崎リハビリテーション病院
- ②福岡和白リハビリテーション学院
- ③頑張ります

## 【高木 魁】

- ①長崎記念病院
- ②長崎医療技術専門学校
- ③おっしゅー！！

## 【西 保奈美】

- ①南長崎クリニック
- ②長崎医療技術専門学校
- ③職場の方、利用者様に信頼されるOTになります！

## 【福添 唯】

- ①佐世保中央病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③患者さんに寄り添えるOTになります

## 【吉嶺 花子】

- ①耀光リハビリテーション病院
- ②神村学園専修学校
- ③元気にがんばります！！

## 【花田 綾香】

- ①長崎北病院
- ②長崎大学
- ③新人らしく明るく元気に頑張ります！！

## 【大久保 綾香】

- ①耀光リハビリテーション病院
- ②長崎リハビリテーション学院
- ③明るく頑張ります。

## 【田崎 美智】

- ①長崎リハビリテーション病院
- ②九州保健福祉大学

## 【八重尾 美里】

- ①長崎北病院
- ②熊本保健科学大学
- ③新たな土地で長崎県の皆様に貢献できるよう頑張りたいと思います



# 広報局よりお知らせ

# ホームページリニューアルについて

今年度、長崎県作業療法士会ホームページ(<http://nagasaki-ot.com>)のリニューアルを行います。内容としては、主に以下のものです。まだ企画中の内容もあり、変更の可能性があります。皆様のご意見などを適宜受付いたします。

## トップページ

メインビジュアルは当会で画像素材を準備します。1年に2回程度の変更を行います。

**トップページに掲載する写真などを随時募集中です!**

fnet@nagasaki-ot.comまで



## 法人概要ページ

一般社団法人として必要な法人概要の開示を行います。内容は、サイトポリシー、組織図、定款や決算、役員一覧、賛助会員名簿、などの情報公開を行います。

## 会長のページ

会長挨拶、会長の活動報告。県土会活動方針などです。

## 会員向けページ

会員向けのトップページです。会員向けの重要なお知らせを掲載。研修会・県学会・事務関連など必要な情報にアクセスしやすいように構成します。

## 教育局・県学会のページ

県土会主催研修会、他団体主催研修会、現職者研修会などの情報提供、管理などです。研修会資料の掲載。スマートフォン・モバイル端末対応サイトを併設します。

## 事務局のページ

総会、役員選挙などの公示。会費の案内。決算書類、理事会議事録などの管理、掲載などです。

## 学術局のページ

学術誌の掲載要項や補助金事業の案内です。

**運用開始は9月を予定しています。**

## 一般向けページ

作業療法がどのようなものか、ビデオや写真などを使って説明します。地域で活躍している作業療法士を取り上げた「地域発！作業療法士」、作業療法士と関連のある他職種の方や対象者を取り上げた「つきあってOT」など機関誌「さいかい」で取り上げたコンテンツをホームページ用に編集して掲載する予定です。中学・高校生向けには、九州広報戦略部作成のOTのお仕事 (<http://www.ot-iine.jp>) にリンクして誘導します。

## 特別委員会のページ

企画検討中です。精神保健予防委員会などの活動報告。認知症予防に関する自治体との協力などの紹介です。がんばらんば国体でのボランティア活動の紹介をします。

## 福祉機器のページ

企画検討中です。先に開催された長崎県作業療法学会特別企画「福祉機器展」のWEB版。作業療法士の視点からのコメントを入れます。

## 生活行為向上マネジメントのページ

生活行為向上マネジメントに関する情報提供。一般の方や他職種にもわかるような説明です。

## 資料のページ

理事会議事、研修会資料、学会資料、その他発行物や各種書類の置き場です。

## 事務局のページ

企画検討中です。県内各地で開催される健康祭りにおける作業療法ブースで出展されたアクティビティの活動分析を行い紹介します。

## まとめ・FAQ

サイト内に適宜配置します。

## リンクのページ

広報局部員によるおすすめサイトの紹介です。

## メールマガジン

現在のFネットとホームページの連動をはかります。

**作って欲しいページや  
ご意見などありましたら、**

fnet@nagasaki-ot.comまで

## 生涯教育ポイント対象勉強会 SIG 対 象 勉 強 会 (平成26年度現時点)

勉強会名	窓口・連絡先	開催頻度
Nagasaki Child P.O.S.T	窓口：宮本 久志(みさかえの園 むつみの家) メール：nagasakicpost@gmail.com	年度初めにメンバー登録し、メンバー固定(年10回)
大村・東彼杵地区勉強会 (ゆでピー)	窓口：畑田 美恵(大村共立病院) Tel：0957-53-1121 メール：hatada@camellia.or.jp	月一回
佐世保地区身障系勉強会 (させぼっと)	窓口：内野 保則(千住病院) Tel：0956-24-1010 メール：rehab-senju@1010hosp.or.jp	二か月に一回
島原県央地区精神科作業療法 勉強会(中ちゃんぼん)	窓口：延 祐樹(あきやま病院) Tel：0957-22-2370 メール：akiyama_ot@yahoo.co.jp	現在、休止中。頃合いをみて再開予定。
長崎身体障害系勉強会 (ふもとの会)	窓口：田中 浩二(長崎大学) Tel：095-819-7900 メール：kojicbr@nagasaki-u.ac.jp	月一回
長崎発達障害領域作業療法 勉強会	窓口：岩永 竜一郎(長崎大学) Tel：095-819-7993 メール：iwanagar@nagasaki-u.ac.jp	二か月に一回
長崎精神科系作業療法勉強会 (ちゃんぼん)	窓口：鎌田 秀一(日見中央病院) Tel：095-838-2760 メール：himi-riha@alpha.ocn.ne.jp	月一回 (通常、第二月曜日に開催)
長崎高次脳勉強会	窓口：山田 麻和(長崎北病院) Tel：095-886-8700	二か月に一回
長崎作業・支援技術研修会	窓口：大久保 篤史(長崎大学) Tel：095-819-7200 メール：asumi@estate.ocn.ne.jp	月一回
長崎MoCA勉強会	窓口：本村 幸永(長崎県精神医療センター) Tel：0957-53-3103 メール：motomura-yuki@nagasaki-hosp-agency.or.jp	月一回
長崎精神科作業療法研究会 (北ちゃんぼん)	窓口：廣瀧 仁美(宮原病院) Tel：0956-31-9151 メール：kitachampon@gmail.com	三か月に一回
長崎県県南地区勉強会 (パーモス・ア・島原)	窓口：中嶋 康貴(池田病院) Tel：0957-62-3043 メール：nakashima.y@ikeda-hp.or.jp	二か月に一回 (奇数月に開催)

興味のある方は窓口にお問い合わせをお願い致します  
皆さんの参加をお待ちしております  
ポイントを貯めながら一緒に勉強しましょう



## 編集後記

今回の「さいかい」は東北地区が担当になり、企画・編集を行いました。年度初めの「さいかい」ということで、オリエンテーションに参加された新人さん達の紹介を掲載させて頂きました。会員の皆様、よろしくお願い致します。

上の写真は今年度の県学会の委員の皆様と各地区の健康福祉まつりの様子です。

今年度も引き続き各地のイベントに参加しようと思っておりますので、各地区の皆様においては広報局までご連絡をお願いします。 上野 歩

### 広報局

局長 中山 浩介

部長 上野 歩

部員 藤樫 舞子

馬津川 龍太

江頭 雄一

山田 翔大

吉野 賢一

牧野 航

渡邊 利枝

中川 佳苗

中村 ひかる

馬場 稔一郎

安楽 真由美

志垣 彩乃

下濱 太陽

富田 将

長崎県作業療法士会ニュース

発行 長崎県作業療法士会 事務局

長崎市坂本町1-7-1 長崎大学医学部保健学科 作業療法学専攻内

TEL095-816-2000 代表 沖 英一

企画・編集 長崎県作業療法士会 広報局

西彼杵郡時津町元村郷800 長崎北病院内 TEL095-886-8700



広報誌「さいかい」は、  
廃液を出さず環境に優しい  
「水なし印刷」で印刷しています。